

愛駒 2011 ① [編集する](#)

2011年05月09日 00:31 [友人の友人まで公開](#)

6 view



《写真1》 真ん中のまるみを帯びた山が、愛駒! 🌞

《写真2》 青空バンザイ!! 🎉

《写真3》 これ、なーんだ! 🤔 (HAPPY BIRTHDAY!? ブブーx)

【5月3日(火)】移動日

ここ最近、入山日の大寝坊が連続なので…。登山前に1日余裕を持てるのは、なんて安心... 😊

翌日の入山予定に備え、桧枝岐の民宿『尾瀬野』に豪勢に宿泊。満室だと聞いていたので、「大繁盛ですね～」と言ってしまったが最後... 💧

南相馬市の人々を受け入れているようでした。

(ごめんなさい、余計なことを言いました...m(_ _)m)

民宿は奮発しただけあり、とっても贅沢。食事は山菜料理の小鉢がたくさん。さらには揚げた魚に、炊き込みご飯 🍛 夜はぐっすり快眠 ✨ いい夢を見て、朝風呂まで入れて 🔥🌟🌟🌟🌟

そして、宿代を払わずに、宿を出てきてしまいましたとさ... 😞

(→これがあとあと、皆様にどれだけ扱き下ろされたことか...🙏)

(→もちろん、後でちゃんと払いましたよ🍷 立て替えてくださったしんじさん、ありがとう🙏)

【5月4日(水)】

前夜、一緒に泊まったさとちゃん&しんじさんは、別ルートで入山するため、一時お別れ。

他方、民宿に迎えに来てくれた、デイダラボッチさん、HEVAさん、shifonさんと久々の再会。本日はよろしくお願いします🙏

さて、御池に到着🚗



この時期、御池からは、燧ヶ岳に登って、スキーで下りてくる登山客が多いとか。しかし、我々一行は逆方向、会津駒ヶ岳を目指して出発👉 (7:30)

小出方面への林道を歩くと、除雪車が止まっていたが、除雪はほとんど行われていない。まだまだ冬景色の御池周辺でした。

7:40-7:55 大杉岳登山口

ここでアイゼンを装着。ウキウキ♪

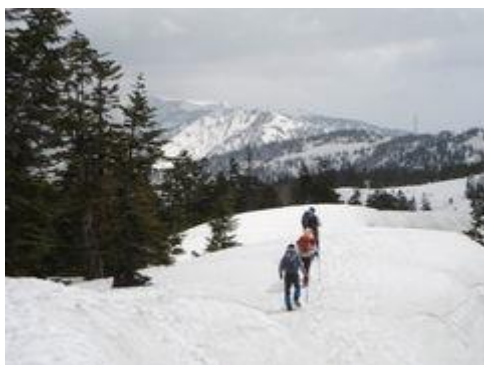


たくさんのトレースがついていたのは、大杉岳まで登って、スキーで下りてくる登山客がいるとのこと。

ここで、スキーの板を履いたまま登っていく登山客に出会ったが、かかどが持ち上がるビンディングを装着していた。これで踏み出す1歩もとても大きく、軽快に登っていく。ほー!!💡

9:15-9:25 大杉岳(→山頂の標識は、発見できず)

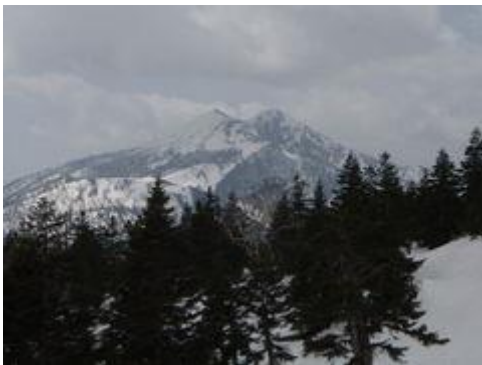
そして、ここから始まる、白銀の大縦走～～～



しかも、貸切👌

ぐふふふ😅

そして、歩き始めて振り返れば、



双峰の燧ヶ岳(→ズームアップしてます📷)。わお。

ぐふふふふふふふ😅😅

(気持ちよすぎて、壊れてきてます。)

デイダラボッチさん達は、昨年と同じルートを歩いているのだが、昨年はずっと青空だった、と悔しがっていた。でもおれにとっては、ほどよく風も吹いているし、もう十分です😅

ここからは緩やかな登りが続くのだが、雪のお陰か、あっという間に進めてしまった感じで...



10:35-11:25 電発避難小屋に到着。ここで昼食。
(といっても、小屋内には入れないので、小屋の下で。)

本日の昼食は、HEVA 料理長による

🍴『ブラジル風丸鶏焼きサンドいちごジャム添え』+コーヒー☕

という名前だけは事前に聞いていたが、どんなものかと思っていたら、



なんと、チキンの丸焼きが出てきた～!!

これを適当な大きさに切って、パンに挟んだら、



HEVA 料理長手作りのイチゴジャムを添えて出来上がり🍷

口に入れると、まずはイチゴの甘みと酸味が口に広がり、その中からチキンのしょっぱさ(!?)が染み出てきて、合う～👍

ちなみにこのチキンは、ここだけでは食べきれなかったの、山小屋に着いてからは、酒の肴にもなりました～👍👍

そして、おなかも満たされたところで、出発。

まだまだ気持ちの良い縦走は続きます。



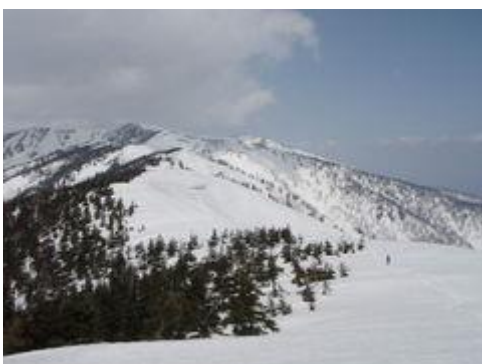


縦走というよりは、もはや、お散歩気分👉

12:50-13:05 大津岐峠。

キリンテへの分岐点だけれど、標識はやはり雪の中。(しかし、後で聞いた話だと、黄色いバンダナの目印もあったとか。) 駒の小屋の宿泊客はここからキリンテへ下山する人も多いそうで、トレースがたくさんついていました👉

ここからは、



あの、まる〜い丘のような会津駒ヶ岳を目指して、れっつだゴー!!

といっても、稜線には雪庇(せっぴ)もあり、そんなときは、



一時的に樹林帯を潜ったり。これがちょっと面倒くさかったかな。



一部、だいぶ雪も腐りかけていたりね。



今日歩いてきたルート。そして遠方には燧ヶ岳。

そして、小屋が見えた瞬間、小屋番の S 姐さんとの再会👩🏻

ww:「年末に突然電話しちゃって、すみませんでした〜🙇🏻」

S 姐:「えー!? 覚えてない🙄」(→本当に思い出せてない様子。)

そんな...👉

S 姐さん、さすがです。とってもいい味出しています。

そして、やもーどさんにも再会👉👉 今年もまた来てしまいましたよ〜!🏠

と、その頃。

民宿で別れたさとちゃん&しんじさんは、eru ちゃんと合流後、滝沢登山口から駒の小屋に向かっていた。

そろそろ着いてもおかしくない時間だと思っていたら、来た、来た、来た〜👩🏻 eru ちゃんは、足のけがから回復して間もなかったそうだけど、無事に駒の小屋に到着。やったね👉

7:30 御池
7:40-7:55 大杉岳登山口
9:15-9:25 大杉岳
10:35-11:25 電発避難小屋(昼食)
12:50-13:10 キリンテへの分岐
13:35-13:40 休憩①
14:25-14:30 休憩②
15:00 駒の小屋

さて、駒の小屋は完全自炊の山小屋。登山客がそれぞれ持参した夕食を作るのだが(→おれらの夕食は、HEVA 料理長による『ハンガリー産鴨南蛮煮込み稲庭うどん』🍜).....

いざ食べ始めようと思ったら、今日は何やら雰囲気が違う.....😓

ん💡?



なんと、なんと、なんと!!

今月末に結婚する若者カップルの登場〜🎵 (婚前登山!💕)

ええい、もう顔写真も載せちゃえ～!!



そんな二人を囲んで、乾杯～!!🍷😊

新婦かなちゃんのハートを射止めた新郎きよぼんは、尾瀬沼ビジターセンターにてバイトをしていたことがあり、S 姐さんとも知り合い。そのかなちゃんは、S 姐さんに憧れて(!?)、今年から尾瀬沼ビジターセンターで働くことになったとか。なんだか"縁"がいろんなところでつながってるね😊

そしてそして、



ケーキ入刀🍰

(→これは、shifon さん手作りのシフォンケーキ!!👍)

おめでとう——❤️



本日の宴会メンバー🍻

その後は、ww の結婚相手募集中ネタで、話に花が咲いてしまったが。まあここは素直にイメトレしておきましょう😊

(決して誰でもいいってわけじゃないのよ。でも出会いは大切にしたいのよ。(→ww ココロの叫び))

夜は、快適な布団の中、寝る直前に飲んだほんの少々の焼酎が効いてしまったようで...🍷 夜中に目が覚めたら、なかなか寝付けなくなってしまった.....😓

でも、酔い覚ましに外に出たら、満天の星空🌌 目が慣れてくれば来るほど、星の数がどんどん増えていく。この星空も貸切状態👌

星空を見上げて、ひととおり鼻唄🎵も歌い終わってから、布団に戻って就寝。。。 ああ、いい一日だった。。。💤💤💤

(つづく)

愛駒 2011 ② [編集する](#)

2011年05月09日 01:43 [友人の友人まで公開](#)

6 view



《写真1》 神々しさにとれる二人 ✨



《写真2》 針葉樹も美しい 🌲



《写真3》 春 🍀

【5月5日(木)】

3:30 起床

4:15 やもーどさん&S 姐さんには会えずに出発。また来るね〜👋 そして、まず目指したのは、



駒の小屋の真正面に聳える、あれだー!!

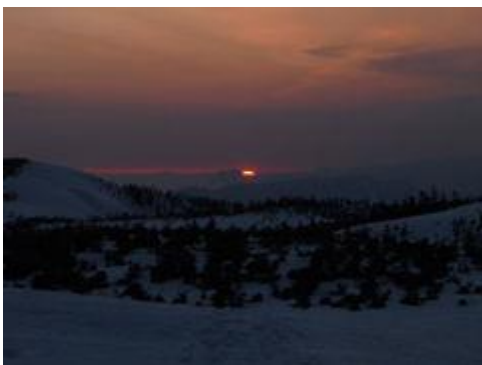
4:30 会津駒ヶ岳、登頂🙌

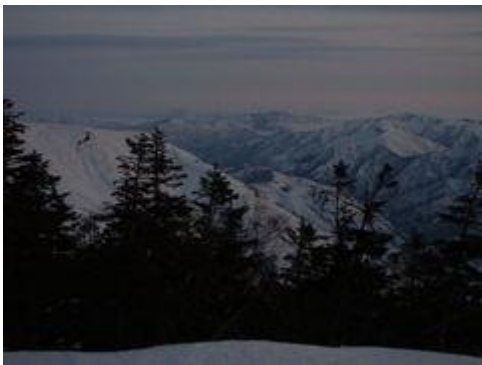


今年は昨年よりも積雪が多いことがわかります。

そして今日も、大縦走のはじまり、はじまり～。

歩き始めは、朝の光に照らされた山を楽しむ。





雲海、好きです😊

今日も、ほぼ貸切状態。このルートはかなり穴場だね💡でも、トレースはついていたので、やはり歩く人はいるようだ👣



大戸沢岳は、西側の斜面を歩いて巻いた。ショートカットできたけど、斜面が急なので、やや歩きづらくもある。でも、針葉樹の中を彷徨うのも、なかなかいい気分😊

5:35-6:20 大戸沢岳を過ぎたところで朝食。(→『アメリカ風 BLT サンド』🍔) 空気も美味しいし、眺めもサイコー👍👍👍



ほんと、贅沢してるなあ...✨✨✨✨

そして、ここからは登り。



三ツ岩岳を目指します。

稜線では



こんな雪庇も。それもよく見たら、



雪庇の下に、つらら。自然界ってほんと不思議だ🤔



こんな空洞もあつたり。崩れ落ちるのも時間の問題!?? 😞

天気もどんどんよくなり、青空に映える、白き峰々。風はだんだんと無風状態。温かい朝でした 🌞

そして、



7:40-8:00 三ツ岩岳。

今年は三角点は雪に隠れていました。



これが、三ツ岩岳の由来となった3つの岩。

2年前はこの三ツ岩岳から下山したけれど、今回はさらにその先の窓明山まで歩きます。



三ツ岩岳よりは標高が低いので、下りチックだけど...

9:00-9:25 窓明山



今回、何度も見てきた西側の峰々の中でも、これは目に焼き付けた👁️👁️ 左が中ノ岳、真ん中のとんがったのが荒沢岳、右が越後駒ヶ岳。今年はこちら歩きたいね👉👈

縦走はここまで。ここからは悲しきかな下山、下山、下山👇



下山を楽しくさせるシリセードも、だんだんコツを覚えてきた。(→重心は腰に。足は伸ばして、膝をほんの少しあげた状態でOK💡)



しばらく下ってから見上げた窓明山への斜面。また会おう👋

そしてどんどん下山。



ブナ林の中も、下山。

さて、このまま尾根沿いに下ると、尾根上に登り返しも出てくるので、この登りを巻こうと尾根から外れて歩き始めたのだが、再び尾根に出てから下り始めると...!?

どうやら、ここで道迷いをしてしまったのではないかと気づく...😓

本来下る予定の尾根ではなかったけれど、この尾根を下っても国道には出られるはずだと、引き続き下り始める。すると、やがては雪もなくなり、アイゼンを脱いで、藪コギへ。。😓

ここから一気にペースが遅くなり、バスの時間を気にしたダイダラボッチさんが先に下山。HEVAさん、shifonさんとおれの北鎌3人組で、気を取り直して再出発👊



急な斜面は、三点支持が有効!? でもあまりにも急なので、ここで奥穂の「馬の背」が頭によぎる...💧😓
(でも、あの時の経験が、こんなところで活かせるだなんて...✨)

その後、尾根がなくなってしまう、沢に出る。沢沿いの下山は危険だと意見はまとまり、対岸の斜面を登り始める。



ここを登りさえすれば、向こうの尾根こそが本来の登山道に出られるはずだと読んでいたのだが...

登山道に出ない...🤔

でもやはり沢には戻りたくないなので、藪の中をどンドン登り返す😓

12:40、下山できたダイダラボッチさんから電話が入り(→ドコモのみ電波が入る)、沢からどンドン左に上がれば登山道に出られるとの情報を得る💡

この言葉を信じて、藪を漕ぐ、漕ぐ、漕ぐ...💧 でもそんな中、



イワウチワの群生。春だね。

(→でも、これも踏みつぶしてしまったかも。ごめんっ!!)



白いイワウチワも発見👁👁



こちらは、ショウジョウバカマ。

そして、もうとにかく前進あるのみ、それだけで進み、あの尾根こそ登山道だと思って登りきったら、雪の上に出る🌀 登山道の目印(赤テープ)がないかを見回すが、ない...👇👇👇

がーん...🌀

となれば、もう一つ先の尾根まで、また藪コギして進むのかと思うと気が滅入っていたその時、何気なくこの下へと伸びる尾根の先を見たら、雪が途切れた先に...👁️👁️

発見、夏道———!!👆👆👆



登山道に軌道修正。なんてありがたい登山道さまさま👉👉 これでラスト 300m の下りなんて、ひよひよいのひよひよ〜👉

この下り道で、shifon さんが宣言👉

「昨年も今年も、似たような道迷いをしてしまった。悔しいから来年またリベンジしたい👉👉」

おおっ!!😅

そして、無事に下山。お疲れ様でした———!!

4:15 駒の小屋

4:30 会津駒ヶ岳
5:35-6:20 朝食(大戸沢岳を巻いた先で)
7:40-8:00 三ツ岩岳
9:00-9:25 窓明山
10:25-10:35 休憩
11:35 デイダラボッチさん先に下山
11:55-12:00 沢
12:20-12:25 休憩
12:40-12:50 デイダラボッチさんと通信
13:25-13:35 登山道
14:00 国道(小豆温泉付近)

温泉(窓明の湯)で、キリンテ経由で下山したさとちゃん達と合流。しかし、さとちゃん達にも大きなドラマがあったようで…。

(→実はその時の様子をメールでもらっていたのだけれど、ソフトバンク📶のおれは受信できず。ごめんなさい💧)

でも、お互い無事に下山できて、本当によかったです✨

 本日の温泉『窓明の湯』

→小豆温泉の一つとして知られている。

内湯が広く、ガラス張りなので、明るい。露天はやや狭いかな。

お一人様¥500で、以前よりは値下がりましたか!?

さて、後日談。

下山後、早速買いに行ってきたのは、25000分の1の地形図。

正直、おれは駒ヶ岳から北側の地図を持たずに入山しました。(→最初からみなさんの後に着いていくつもりで構え👉)これが反省だったな、と😓

事前に入手できる情報は、きちんと得ておかねば、だね。

そして地図を見て納得。おれらは登山道からかなり離れてしまった所を歩いていたんだなと。だからあれだけ藪こぎしたわけね。。。😓

はい、今回のこの経験は、今後の山に(来年のリベンジ山行にも!?)活かしましょ👉
(道迷いはもう勘弁だけどね〜👉)